

TAKE FREE

12  
2023

RELEASE

2か月に1回発行

**NPO**  
がっ とう  
EDITORIAL NEWS

Issue : 桑名市市民活動センター

E-mail : [kuwana-sksc@tuba.ocn.ne.jp](mailto:kuwana-sksc@tuba.ocn.ne.jp)

URL : <https://civickuwana.com>

Contact : 桑名市市民活動センター Tel : 24-1184

(認)みえきた市民活動センター Tel : 27-2700



◆◆今回は「のん・ぼっち」の記事をお届けします!◆◆



皆さん、こんにちは。保護猫施設「のん・ぼっち」です。

2022年2月22日の「スーパー猫の日」に設立し、団体活動を開始してからまだ2年に満たない私達ですが、以前から個人で保護猫活動をしてまいりました。個人での活動には限界が多く、団体を立ち上げて現在に至ります。

ソトで暮らす猫たちは、その生態から迷惑だと感じる方も多く、また十分な食事ができないまま育つ子も多いため病気にもかかりやすく、その弱った猫たちをターゲットにして虐待する人達も後を絶ちません。



理不尽な虐待から一匹でも多くの猫をまもりたい。そしてこの世に生を受けた、私達と同じ命を守りたい。そんな思いで活動しています。

本来ならば、自然のなかでのびのびと生きるのが幸せなのかもしれませんが、猫たちの命を守るという観点から、私達は捕獲すべき・保護すべき猫たちを保護猫施設で、しかるべき治療を受けさせ、人慣れさせ、理解のある里親さんの元へ送り出す活動をしています。

団体の趣旨に賛同してくださる会員を募集しながら、まだまだ手探りのような状態ですが、毎日かわいい猫たちに癒やされ、ときに教えられながら活動しています。



昨今ではよく耳にする多頭飼育崩壊の現場にも足を運び、飼い主さんと十分な話し合いのもと、引き取りをし、里親さんの元へ送り出しもしています。

団体名の「のん・ぼっち」は、「一人ぼっちではない」という意味で付けました。それは人も猫もです。望まずに多頭飼育になってしまった方も多いのではないのでしょうか。お一人で悩まず、一緒に改善策を考えていければと思います。

限られた空間の施設では欲張った活動はできませんが、一匹一匹の大切な命を預かり、この子達にとっての幸せとはなにか、そして、この子達の生命の尊さをどうしたら理解してもらえるか、いろいろな思いと向き合う毎日です。

施設では、常に里親さんの募集をしています。また、活動の趣旨に賛同していただける会員の方、保護施設で猫のお世話をしてくださるボランティアスタッフの方も、いつでも募集しています。

少しでもご興味のある方は、ぜひともご連絡ください。施設の見学でも大歓迎です。よろしくお願いいたします。

「のん・ぼっち」保護猫施設  
〒511-0862 桑名市播磨5 3 5  
連絡先 TEL 070-8379-9079  
代表 山本 裕美



◆次回は2月発行です◆

The next one is fun